

# 防災・減災ソリューション × ユネスコ世界ジオパーク 「糸魚川版にいがた防災ステーション」企画化への参加募集！



令和5年7月26日

糸魚川市産業部商工観光課  
主査 宮路省平



人 口

約 **4 万人**

自然環境

**北アルプス**  
+  
**日本海**

アクセス

<b>TOKYO</b> 東京	新幹線	2時間
<b>OSAKA</b> 大阪	特急+新幹線	4時間10分
<b>KANAZAWA</b> 金沢	新幹線	50分



日本初 **世界ジオパークに認定**  
世界最古 **ヒスイ文化発祥の地**



- フォッサマグナをはじめ大きな高低差や多様な地質など、特異な立地を背景に多くの大災害を経験してきた。
- ユネスコ世界ジオパークに国内で初めて選定、防災教育に関しては、高い学術的知見を有する。
- 4万人規模の自治体であることから、市民との距離が近く、集落が取り組む防災対策にも企業のマッチングが可能。
- 市主催のワーケーションツアーに参加いただいた場合、ワーケーションに係る交通費を助成可能。

■糸魚川市駅北大火、昭和最大級の雪崩災害等の経験も活かして、防災ワーケーションプログラムを造成したが、ワーケーションだけでは企業の参加が少ない。

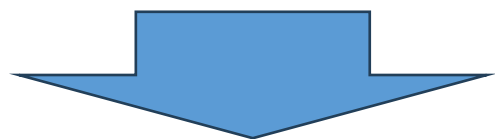
■企業の防災に係る実証事業を誘致したいが、市との関係性が乏しい。

「糸魚川」防災ブランドの確立、企業との関係強化に向けて、令和5年度は「糸魚川版防災ステーション」を企画するワーケーションプロジェクトを実施する。

防災ソリューション企業、防災に関心の高い企業等、行政、研究機関等の参加により、参加者間の関係性を深め、企画、計画をブラッシュアップする。

# 新潟県の防災ステーション事業

- 防災に関する“資源”が集まり、新しい活用が生まれる“防災”の総合基地
  - 産学官連携による防災産業のクラスター形成により、防災に係る新しいプロジェクトやイノベーションを創出するプラットフォーム
  - ネットワーク形成と新事業創出
  - 知見経験を共有する、ワークショップ、セミナーの開催
  - 産学官が連携した新たなプロジェクト



糸魚川版の具体的企画づくりに令和5年度参加いただき、  
次年度以降の活動につなげる



## 自然災害大国日本における 自然の「恵み」と「脅威」を体感する2泊3日のワークショッププログラム

2016.12.22 糸魚川駅北大火



その他、雪崩災害、噴火災害、地すべり等を教訓としたプログラム造成

防災学習



被災体験談



フィールドワーク



歴史学習



## 防災ワーケーションの実績②

富士通、富士通JAPANとのワーケーション・パートナーシップ協定を締結後、第一弾となるワーケーションツアーを防災をテーマに開催。富士通JAPAN社のソリューションも活用。

令和4年6月24日～6月27日

地域住民との交流



市訓練訓練時の実証実験

地域での防災講演会



市内事業者訪問



いとい市 まちフォト | 5

**まち PHOTO** 6月26日 災害・火災に備える

3年ぶりに市内全域を対象とした防災訓練が行われました。能生体育館では、能生地区町内会の方が参加し、避難所設営訓練等を行い、段ボールベッドやパーティション、簡易ベッドなどの組み立てを体験しました。また、富士通Japan株式会社によるスマートフォンを使った避難所受付システムのデモンストレーションも行われました。

段ボールベッドを協力して組み立てます

スマートフォンのを使った受付システムを体験

家で使用している天然ガスを確認中

市内で火災が多発していることから、棚口地区において天然ガスを使用している世帯を訪問し、防火診断を行いました。

(7月10日号 広報いといがわ)

## 交通便利なワーク&コミュニティスペースを整備

これまでは、市内の宿泊施設にご協力いただきワーク環境を整えてきたが、国の地方創生テレワーク交付金を活用し、新たなワーク&コミュニティスペースが誕生

美山多目的集会施設「クラブハウス美山」



SAN\_AIワークス





# 親子ワークショップ【体験入学】の実績(番外編)

## 教育委員会と連携し、親子ワークショップ体験入学を仕組化

### →市内のワークショップコーディネーターと連携し、糸魚川暮らしをサポート

体験入学



VACATION



日本ワークショップ協会さん  
プレスリリース

フジテレビ系列ノンストップ!で親子ワークショップの取り組みが紹介

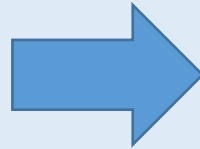
2022年4月15日 | 親子ワークショップの紹介 | 親子ワークショップ



2022年4月15日「余」のフジテレビ系列ノンストップ!にて、当協会会員でもある糸魚川市(新潟県)の親子ワークショップの取り組みが紹介されました。

糸魚川市役所の宮路省平氏が取材に応じて、同市の親子ワークショップの取り組みを分かりやすく伝えました。取材のコーディネートは、当協会が認定する必須ワークショップコンシェルジュ伊藤真由美(現)理事が担当しました。

また、番組内では、同コンシェルジュが取り締まる原野(今村)市長)における親子ワークショップの事例なども紹介されています。そのほか、親子ワークショップでは富山県(富田)市長、千代田(山田)市長)などの取り組みも紹介されていますので本ページに掲載します。



# ジオフードワーケーションの実績(番外編)

糸魚川食材の販路拡大に向け、ジオフードワーケーションプログラムを造成  
料理教室を全国展開するベターホーム協会と連携し、メニュー開発や販路拡大に取り組む

令和5年3月23日

一日料理教室開催

朝取れ鮮魚採用



令和5年3月24日

ジオパーク学習

事業者訪問



4月にリニューアルオープンした銀座教室ショップ  
内に糸魚川産品コーナー開設

- 防災（大火・雪崩・噴火・地滑り等）をテーマに、自社のソリューションを紹介、**PR**したい。また実証実験するフィールドを探している。
- 防災（大火・雪崩・噴火・地滑り等）をテーマに、社員教育を目的としたフィールドを探している。
- 防災産業の活性化を目指したクラスター「にいがた防災ステーション」に関心があり、関わってみたい。
- 防災グッズを商品開発したので、行政や地域住民からの感想を聞いてみたい。

# 防災・減災ソリューション × ユネスコ世界ジオパーク 「糸魚川版にいがた防災ステーション」

ワークショップで参加者の関係性を深め、企画作りから参加する。



実証実験等を通じて、関係性の構築



にいがた防災ステーションへの加入企業・自治体との連携



防災をテーマとした横断的イノベーションの実現

